

「情報と社会」研究開発領域

計画型研究開発

「高度情報社会の脆弱性の解明と解決」

中間評価報告書に対する意見書

平成18年4月28日

独立行政法人科学技術振興機構

社会技術研究開発センター

「情報と社会」研究開発領域

計画型研究開発研究統括 土居 範久

「情報と社会」研究開発領域の計画型研究開発「高度情報社会の脆弱性の解明と解決」に関し社会技術研究開発センター評価委員会により実施された中間評価の結果（中間評価報告書）におきまして、一部ワーキンググループの研究方針に関し事実を誤認されていると思われる点がありましたので以下に補足をさせていただきます。

[非常時情報通信システムワーキンググループの研究方針に関する補足]

中間評価報告書におきまして、検討対象として、安否確認システムに重点が置かれているというご指摘がございました。当ワーキンググループといたしましては、安否確認システムに研究の起点の一つがあることは認識していますが、研究の目的に従い、非常時情報通信システム全般に関して研究を行っております。この点についてのみ、この場でご報告させていただきます。中間報告の内容を踏まえ、本年度も、確実な成果が得られるよう研究に邁進いたしますので、これから御指導御鞭撻くださいますようお願いいたします。